

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0991300328		
法人名	株式会社さわやか倶楽部		
事業所名	さわやかグループホームなすしおばら		
所在地	栃木県那須塩原市新南37-2		
自己評価作成日	令和5年10月1日	評価結果市町村受理日	令和5年12月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6
訪問調査日	令和5年11月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

企業理念である「慈愛の心・尊厳を守る・お客様第一主義」の実現に向けて、入居者様一人ひとりに寄り添った支援を目指しています。生活の主役は入居者様であるとの考えのもと、株式会社さわやか倶楽部の取り組みのひとつである毎朝の活力朝礼を入居者様と共に行っています。日々の支援の中で入居者様とご家族様の思いを傾聴する時間を大切にして、ニーズをしっかりと把握してサービス計画書に反映させ、その方に合ったサービスを提供しています。また、当施設はJR西那須野駅から徒歩8分住宅地に位置し、遊歩道(ポップ通り)に面しており200メートルほど進むと同グループの特定施設さわやかなすしおばら館もあり、入居者様同志・職員同志の交流を深められるよう取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

東北自動車道西那須野塩原インターチェンジより車で約14分、JR西那須野駅より徒歩約8分の、生活の利便性の良い住宅地で、少し離れると自然豊かな地域に当事業所は位置している。全国に介護施設を展開する法人が2019年に開所後、同法人の事業所が協力し合い、コロナ禍であっても地域との繋がりを大切にしてきた。地産地消の食材を進んで取り入れることで地域に役立ち、手作りの美味しい食事を提供している。安心して最期を迎えることができる事業所となるよう、看取りにも積極的に取り組んでいる。職員が丸となって、利用者一人ひとりを尊重するケアを提供している、温かく家庭的な事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、入居者様と行う活力朝礼の中で企業理念の「慈愛の心・尊厳を守る・お客様第一主義」を職員で唱和を行っています。毎日の実践で自然に習得しています。	理念に基づくグループホームの目標、感謝と笑顔というテーマを実践できるよう努めている。相手への感謝を文字にしたサンクスカードをお互い送り合い、利用者も職員も笑顔で過ごせる仕組みを取り入れている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	那須塩原市社会福祉協議会からボランティアの紹介をして頂き、地域のボランティアの方々と交流を深められるように支援しています。	コロナ禍で途絶えていたボランティアの受け入れを少しずつ再開している。傾聴ボランティアのほか、フラダンスやメイクボランティアの受け入れも予定している。自治会にも特別枠で入会し、行事にも参加している。	ボランティアの受け入れを広げることで、地域との交流を深めることが期待される。また、自治会長を通じて近隣住民の避難訓練見学を呼びかけるなど、地域とのつながりを深めるさらなる取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域や自治会で行われている清掃活動を入居者様と一緒に参加できるように、運営推進会で話し合っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、行政の方や地域の方、入居者様のご家族様のご参加頂き行事についての報告や事故報告、職員の委員会活動内容を細かく報告しています。直接、意見を頂けるため入居者様のサービス向上に活かしています。	書面で開催していた運営推進会議を、今年3月から対面形式に戻している。自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、市役所職員、家族代表が参加し、質疑応答や勉強会の提案など、活発に情報交換を行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	県・市で行われる研修に積極的に参加し、情報の交換を行っています。今年度は「看取り」についての研修に参加しています。	事業所の新聞を持参して状況を伝えるとともに、ボランティアや研修の情報を得ている。また、事業所での行事に必要なかき氷機や輪投げなど機材の貸し出しも受けることができ、良好な関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を2ヶ月に1度開催し、話し合った結果を議事録に残し職員全員に回覧をして周知しています。身体拘束についての勉強会は、年に2回以上実施し、新人職員には入社時のオリエンテーションで研修を行っています。	2カ月に1回開催している身体拘束委員会の議事録を、運営推進会議で報告している。3カ月に1回事業所主催で開催している勉強会には全員参加し、法人で作った資料やビデオを活用しながら、身体拘束をしないケアについて理解を深めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2021年4月から虐待防止委員会の設置をしています。2ヶ月に1度委員会を開催と必要時にも開催をしています。議事録を回覧して職員全員に周知をしています。また、3か月に1度「虐待の芽チェックリスト」で15項目をチェックをして自己を振り返る時間を作っています。		

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新人職員は、3日間行われる新人研修の中で研修を受けます。その他に年に2回勉強会を行っています。相手の立場に立ってどう考えるかを基本として伝達しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約には、十分に時間をかけて重要事項説明書と入居契約書の読み合わせを行っています。質問に関しては、契約時以外にも対応しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の近況は、ブログや写真付きのお便りまた、施設オリジナル新聞を作成して伝えています。また、ご家族様の面会時にも日頃の様子を口頭で伝え、意見や要望も伺い日々の支援に繋げています。	家族には、事業所の新聞や利用者個別のお便りを出したり、電話連絡をとり、意見、要望を表せる機会を設けている。コロナ禍以前、クリスマス会等の機会に実施していた家族の懇親会について、再開を検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務で気が付いた事は、リーダーに伝えるとともに、退社時に提出する「業務日報」を書く事によって、気付きや反省、意見や提案を把握する事が出来ます。	毎日の業務日報に記すコメントのやり取りを通して、管理者と職員はコミュニケーションをとっている。職員の思いや考えを本部でも把握し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の前向きな姿勢や行動に対するの評価を厳正な人事考課に沿って実施し、昇給や賞与に反映しています。職員会議の出席や委員会活動に対する日々の姿勢や行動も評価の対象にしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場のOJT、新人研修、フォローアップ研修、スキルアップ研修の全員参加や新人職員へのトレーナー制度の実施。社内検定口腔保健衛生士の認定とケアインストラクターの養成を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者のネットワーク(にしなすのケアネット)への参加申し込みを行い、毎月の研修へ参加し交流を深め、情報交換を行っています。		

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初、施設での生活に聞き取りが難しいと感じています。入居者様に担当職員をつけて、心を開いて下さるように同じ職員が対応しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス計画書作成時には、担当者会議を開催して、ご家族様からの要望を細かく聞き取りをしてサービス計画書に繋げて、職員全員で支援内容を共有しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の思いを引き出し、短期目標を決定していきます。短期目標の実現に向けて支援し、長期目標に近づけています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の「共生」を基本に「共に考える」事から信頼関係を構築するように努めています。「私もやりたい」の言葉を引き出せるように支援をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	どのような事も、ご本人様の意見を大切にしています。ご家族様にご協力頂けることは、お願いしながら進めて行きます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される前に通っていた馴染みの床屋への外出、訪問指圧の受け入れなどの支援を行っています。また、ドライブをしながら馴染みの人や場所との関係を継続しています。	利用者の希望に応じて、自宅の近辺のドライブ、馴染みの美容室への外出、マッサージの受け入れなど、本人が大切にしてきた楽しみごとや、人や場所との関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活で出来る事をして頂きながら、皆様が仲良く共同生活が送れるように職員が介入しながら支援をしています。		

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	毎月、施設のオリジナル新聞を発行しています。今までご縁のあったご家族様にもお届けしています。手芸のボランティアをして下さるご家族様もおられます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の更新と継続や日々の支援のなかでの傾聴、施設生活での様子、発言、体調の変化などは、記録シートへ記録して把握に努めています。	利用者について日々の記録をしながら半年に1回、情報を更新している。言葉に表せない方の思いも、行動の前後から把握に努めており、職員間で情報を共有しながら利用者本位のケアを行えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、ご本人様の生活歴を把握しています。時には、ご家族様から聞き取りを行って情報の共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの日課表を作成しています。花の手入れをされる方、訪問マッサージを受けられる方、お料理が得意な方などその方にあった日課表に沿って支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス計画書は、入居者様とご家族様の意向のもとに長期目標と短期目標を担当職員やかかりつけ医の意見を聞きながら作成しています。モニタリングは毎月実施して、目標達成を把握しています。入居者様の状態の変化などによりサービス計画書の見直しも行っています。	センター方式に担当職員が記入して原案を作り、家族や医師の意見も取り入れながら、職員皆で検討して作成している。短期目標は半年、長期目標は一年を目安に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の入居者様の様子、体調の変化や特記事項に関しては「介護日誌」「個人記録」「ケア記録」に分けて記録を行い、申し送り事項として情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様には、種々の事情があり生活保護やご家族様が遠方におられる方も多く、買い物や病院受診の同行など状況、必要に応じて支援しています。		

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの理容店や訪問指圧の受け入れや書道の展覧会への参加支援など、外部の方々と連絡が途切れない様に支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設では協力医をかかりつけとし、月2回の往診があります。内科医以外は、職員が付き添って受診をしています。	内科は事業所の協力医を受診している。内科以外の整形外科、皮膚科、眼科、精神科などについても適切に受診できるよう、家族に代わり職員が付き添い対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回、訪問看護の定期巡回があります。入居者様全員の状態観察が行われます。必要に応じて協力医との連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	近隣の医療機関サービスや相談等は、日頃より入居・治療に関しても情報交換を行っており、緊急時の対応についても信頼関係を構築出来るように努力しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアについては、入居時にご家族様と話し合いで契約書での取り交わしを行っています。看取りケアに関して体制を整え、ご家族様、協力医、訪問看護との話し合いを重ね方向性を導くようにしています。	看取りケアに取り組んでおり、今年も4名の看取りを実施している。訪問医と訪問看護師が1週間交代に事業所を訪問し、いつでも相談できる体制を整えている。利用者の状態変化の都度、家族と話し合い、温かい看取りが実施できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置しておりますので、設置業者の方からの指導を受けています。特に職員の入社があった時には、計画し行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPを作成しています。火災や地震、水害時の避難、通報訓練を計画的に実施しています。	BCP作成に取り組むとともに、年2回消防避難訓練を実施している。コンロ等の備品や、水、カレーや肉じゃが、豚汁などのレトルト食品等、備蓄の管理も適切に行っている。	突発的なミニ訓練、図上訓練の実施など、災害に対する職員の意識を高めるためのさらなる取り組みに期待したい。

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	さわやか倶楽部の「理念と哲学」の手帳の携行と毎日の読み合わせを行い、職員は体得できるようにしています。個人情報の取り扱いに関しては、職員の入社時に書面で取り交わしを行っています。	法人の「理念と哲学」に基づいて、利用者を尊重するケアを実践するため、挨拶や声掛けに注意している。信頼できるリーダーを中心に、職員同士が注意し合いながら、ケアの質の向上に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	午前中は、入浴されたりと時間に制限があるため午後のお茶の時間を活用し、傾聴の時間を設けています。お茶に関しては、何種類かの中から選んで頂いたり、選択して頂く事を増やしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式を活用して、個々の生活リズムに近い状態を再現できるように、ご家族様の意向を取り入れ方向性を出して取り組んでいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1回の訪問美容室では、事前に希望を取りパーマやヘアカラーやお顔のマッサージなど入居者様が楽しみにされています。お化粧の習慣も大切に出来るように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様に注文を伺ったり、季節感が出るように施設の畑の野菜を取り入れたメニュー作りをしています。給食委員会では、3か月に1度入居者様への嗜好調査を行い、食べたい物を召し上がって頂いています。	給食委員会で1ヶ月の献立を作成し、地元業者から仕入れた食材を使って職員が調理している。時には利用者と外出して購入した食材や、事業所の畑の収穫物を取り入れている。利用者にも皮むきや盛り付けなどに関わってもらい、温かい食事を楽しめる支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入所者様の食事摂取量の記録や栄養バランスが偏らないメニュー作りを心掛けています。水分摂取量についても定時以外の飲水支援を行い、種類や量の調整で日々の支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回、歯科医の訪問があります。定期的に口腔内の清掃と職員への指導を頂いています。さわやか倶楽部でも九州歯科大と連携して歯科衛生士レベルの口腔ケアができるように、社内検定試験が実施されています。		

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様個々の排泄パターンや習慣に合わせて誘導と介助を行っています。昼夜オムツを使用している入居者様でも、日中はリハビリパンツに履き替えて頂きトイレへ誘導しています。	利用者各々の排泄記録を職員間で共有し、声掛けや誘導を行っている。利用者が快適に過ごすことができるよう、オムツ、リハビリパンツやパット、ポータブルトイレを適切に使いながら、自立した排泄ができるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になってしまうと食欲が落ちてしまったり、気分が落ち込んでしまったり色々な所に影響が出てしまう事を理解しています。下剤を内服されている方の把握と排便の確認を、一日の業務で大切である事を理解し支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	現在は、曜日指定で週に3回の入浴を行っています。習慣で夜に入浴を希望されている方に関しては、夕食後の入浴で対応しています。入居者様の希望を聞く事を心掛けています。	1日に3～4人を目安に、曜日を分けて週3回程入浴している。お湯を一人ずつ入れ替え、入浴時間は利用者の希望に合わせて夜間も対応している。菖蒲湯や柚湯など、季節に合わせた入浴も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠支援に関しては、寝付けない入居者様には日中の散歩や就寝前入浴、温かい飲み物の提供や室温の管理をしています。安心して就寝出来るまで傾聴を中心に寄り添いながら環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の追加時や変更時について、服薬の変更内容をケア記録と申し送りノートに記載し、朝、夕の申し送りの時間に職員への伝達を徹底し、情報の共有を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の入居者様に合った内容で支援しています。外出・散歩を好まれる方には、職員が同行しています。調理が好きな方には準備を含めて手伝って頂き、掃除や洗濯干しなどセンター方式から読み取れるその方の生活歴を大切にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に行きたいという希望が多く聞かれています。車椅子の方でも安全に買い物が出来るように支援しています。また、ご親戚の方の法要に家族様と出かけられた方もおられます。ご家族様のご協力を頂きながら継続していきます。	日頃から散歩をしており、事業所横の遊歩道を歩いて近所の同法人の特定施設に行くこともある。車椅子対応の社用車で買い物を兼ねてドライブに出かけたり、家族の協力を得ながら法事に出かけたりと、個別支援にも努めている。	

さわやかグループホームなすしおばら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は、入居者様の状態に合わせて自己管理、施設管理をご家族様と相談しながら調整しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたり、手紙を出したり自由に来るような雰囲気と環境を整え支援しています。電話に関しては、都合の良い時間を伺いご家族様の負担面を考慮しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間の環境は、気を配っております。ベランダには、季節の花を植えたり、ソファを設置して自由にテレビ観賞や音楽鑑賞が出来るようにしています。トイレは照明センサーで排水は、自動、手動の切り替えを行っています。	食堂をはじめ、風呂場、トイレなど共通の場は、温湿度を適切に管理している。利用者の作品や、季節に合わせた飾りつけを工夫し、心地よさに配慮している。ホールは、地域交流の場としての更なる活用を予定している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お天気の日には、ベランダでお茶を楽しんで頂いたり、本を置いて読書が出来るスペースを作ったり、玄関も自由に出入りベンチに座ったり気分転換される場所を提供できるように心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、自宅で使用されていた物を持って来て頂いています。お部屋のレイアウトも入居者様にご納得されるように何度でも見学の対応をしています。	エアコン、洗面台、カーテン、ベッドが設置されている。寝具はレンタル利用とし、テレビ、冷蔵庫、加湿器等を持ち込むほか、各々の写真や作品、思い出の品を自由に飾り、快適に過ごすことができるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の生活環境を乱す事がないように慣れた環境を大切にしています。職員も同じ顔ぶれで支援する事によって安心して送れるようにしています。トランプや折り紙などは入居者様がいつでも取り出せるように工夫しています。		